



第 37 回例会

2024.6.12

会員 74 名中 54 名出席 出席率 72.97%
修正 59 名出席 出席率 79.73%
メイクアップ 5 名



クラブテーマ

「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」

方針

1. ローターアクトの地位向上
2. 女兒のエンパワメント
3. DEI の促進
4. ポリオ根絶
5. ローターリー行動計画の実施

例会場：ウエディングエルティ 1F 福島市野田町一丁目 10-41 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



会長挨拶をさせていただきます。今日の例会を入れまして残すところ 3 回になりました。理事、役員、会員の皆様には大変お世話様になり感謝申し上げます。先週は、渡辺和裕会員の山水荘様にて夜間例会が行われました。会員 24 名の参加でしたが日中の例会とは若干少なかったかと思われました。今日の例会は 59 名参加で常に昼の例会は出席率 70%以上の例会の参加率で会場監督の皆様はじめ、会員の皆様の団結力に常に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今日はロータリー地域社会共同隊(RCC)の話をしたと思います。奉仕プロジェクトを通して世界を変えたいというロータリーのコミットメントを分かち合うロータリアン以外の人たちからなるグループです。

RCC メンバーは、地元ロータリークラブと協力して地域でのプロジェクトを計画・実施します。ロータリーがスポンサーとなって結成される RCC は、クラブとパートナーシップを



組み、ロータリーのネットワーク、ブランド力、会員の専門知識などを生かして活動します。RCC は、持続可能なプロジェクトを通してより良い地域社会をつくることを目指し、地元の人たちの知識や能力を引き出すと同時に、ロータリーのインパクトと参加者基盤の拡大を促します。現在、105 カ国、257 地区に 12,000 以上の RCC が存在し、都市部や遠隔地、途上国や発展途上国など、ロータリーが存在する場所で活発に活動しております。

RCC のメリットとして RCC に参加したり、RCC を結成することで地域社会に大きなインパクトをもたらすことができます。RCC は、地域社会の人びとが地元のニーズに対応する力を与えます。プロジェクトの立案、長期的な監督に地域社会の人びとが関わることで、より持続可能で大きなインパクトがあります。クラブは RCC を通して多様な奉仕活動ができるほか、地域社会の新しいリーダーの育成を促すことができます。

RCC の結成を通して、短期的、また持続的な奉仕プロジェクトを実施し、地元のさまざまなニーズに取り組むことができます。奉仕に対するロータリーのコミットメントに共感し、ロータリー会員ではない地域社会の成人であればどなたでも参加できます。奉仕プロジェクトでクラブと協力したいと考える人、地元の特定地域の住民、地元団体に活動するなどがメンバーとなれますので皆様も是非お誘いしては如何でしょうか？地元で RCC が無い場合は、私たちロータリークラブ会員の皆様から積極的に地元住民の方々に呼びかけしては如何ですか？

ロータリーと協力することに関心のある人びとがいるところならどこでも、RCC を結成できますので会員の皆様よろしくお願ひ申し上げまして会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◇新入会員入会式 佐藤 重幸さん



佐藤重幸さんの職業は税理士で、日本パートナー経営参与事務所の副社長を務められています。

佐藤さんからは、ロータリーの理念に則って活動してまいります。会社は土業のワンストップサービスオフィスで、顧客企業の黒字率 100%目指して頑張っていますと挨拶されました。



◆米山奨学生授与（呉 佳洛さん）



相馬野馬追に行ってきました。映画やテレビでしか見れなかった侍を見ることができました。インパクトがありました。侍が馬を走らせるところを見て、戦国時代にタイムスリップしたような感じでした。

◆誕生祝い（6月誕生者）



5月26日生 オカンボ・メリッサ・ブラザ 会員
6月9日生 河谷 元 会員
6月15日生 半澤 一成 会員
6月23日生 菊地 和宏 会員
6月27日生 小坂 和也 会員
6月27日生 尾形 博幸 会員
6月27日生 李 喜蔓 会員

◆ロータリーの友の時間 廣澤 俊樹 委員長



6月はロータリー親睦活動月間です。アンケートによると、ロータリー会員が求めているもの、ロータリーに入って楽しかったことの1番は友人を作ったことです。友情が芽生えないと退会してしまいます。友人とだったら活動が継続できます。女性会員が多いクラブは和気あいあいとしており、統計上も退会者が少ないです。福島南ロータリークラブの歴史で13名の増員は初めてです。ぜひ古参会員から新入会員に話しかけていただきたいです。

◆会員スピーチ① 多田 栄紀 会員



福島信用金庫の多田と申します。今年2月の異動で南支店に赴任しました。私は福島市出身で、今年で51歳になります。小学生から地元の育成会でソフトボールを習っており、中学、高校はソフトボール部に入部し、大学、社会人と現在もクラブチームに所属しています。ソフトボール人口を増やしていきたいと思い、今も地元の小学生や中学生と練習をしています。これからもソフトボールを続けていきたいと思っています。

◆会員スピーチ② 齋藤 高裕 会員



私はロータリアンの大先輩である野地さんからのお誘いで入会しました。野地さんとはお仕事で一緒させて頂いており、お会いするたびにロータリークラブのすばらしさを説かれておりました。

私は菅野年度では社会奉仕委員長と言う重責を拝命致しました。社会奉仕委員会の皆様、会員の皆様のご協力があったことに心より感謝申し上げます。おかげ様で一年間務めることができました。重ねてお礼申し上げます。

新入会員の皆さんが不安に感じることやテーブルでお話しできないことがないようにお声がけしていきたいと考えております。